

「まどぶらポイント」たまっていませんか？

市民公益活動促進プラットホーム事業に団体登録している活動団体が実施する公益活動に参加してたまったまどぶらポイントは、ポイント数に応じて、市の特産品などに交換できます。

ポイントの交換を希望する場合は、総合ポータルサイトや各コミュニケーションセンターに設置されている「パートナーシップ活動支援センター（略称 PSセンター）」にて、まどぶらポイントの交換申請をしてください。

●ポイントの有効期限 最後にポイントが付与された日から1年

※有効期限を過ぎるとポイントは失効します。

※18歳未満の人のポイント交換申請は、保護者の承認が必要で、PSセンター窓口のみで受け付けます。

●受付時間（ポイント交換）

午前9時～午後5時

※休館日（毎月第3火曜日・12月28日～1月4日）を除く

※総合ポータルサイトや、まどぶらアプリでの交換申請は、24時間受け付けます。



●問い合わせ先

各パートナーシップ活動支援センター（各コミュニケーションセンター内）

- ◇南 ☎(596)0686
- ◇中央 ☎(573)3127
- ◇東 ☎(504)1428
- ◇北 ☎(513)0099



総合ポータルサイト

●公益活動例 ◇環境美化◇登下校の子ども見守り◇絵本などの読み聞かせ◇青色パトロールカーでの巡回◇音楽サロン など

●交換できるもの ◇市特産品・推奨品◇市オリジナルグッズ◇市指定ごみ袋◇コミュニケーションバスまどか号回数券◇商工会商品券◇公共施設使用料クーポン券◇市民公益活動団体への寄附 など

本の紹介を通して、皆さんも特別な一冊を見つけてみませんか。

大野城市青少年の居場所ユープル
堀尾 環所長

「精霊の守り人」(偕成社)
上橋菜穂子(著)



前職の小学校教員時代、春日野小の校長先生から学校図書館の活用や読書について指導いただき、司書教諭として児童書をたくさん読むようになりました。そこで出会った学校司書さんにこの本を紹介してもらい、守り人シリーズをいっしょに読みました。作者の上橋菜穂子さんは、文化人類学者でもあり、アボリジニについて研究されています。守り人の世界観の自然、神、精霊など、風景描写はそこにつながつているのかもしれない。シリーズ第一作「精霊の守り人」は、武人としての強さと優しさをもち女用心棒バルサが、精霊の卵を宿した幼いチャグムを敵（帝・異界の魔物）から守りながら旅をします。チャグムは皇子として無事国にもどれるのか、精霊の卵とは？どきどきのストーリーです。

「ぼくがラーメンたべるとき」(教育画劇)
長谷川義史(作/絵)



私が特別支援学級で担任したT君は、毎日図書室へ通っては、長谷川さんの絵本を借りて私と一緒に読んでいました。その時、この絵本に出会いました。ぼくがラーメン食べてる時、隣で猫のミケがあくびして、その時隣のみっちゃんテレビのチャンネルを変えて…その時隣の隣のいちちゃんは、その隣のゆうちゃんは…、そして隣の国の女の子は、さらに遠くの国の男の子は…同じ時を過ごす子どもたちは、さまざまな境遇の中、遊んでいる子もいれば働いている子や荒野に倒れている子もいます。自分の周りに目を向けてみる。そこから世界が広がります。そのことを伝えてくれる絵本です。

●問い合わせ先

- ◇コミュニケーション文化課芸術文化担当 ☎(580)1996
- ◇まどかぴあ図書館 ☎(586)4010